

化学委員会・物理委員会合同結晶学分科会（第23期・第2回）、化学委員会 IUCr 分科会（第23期・第2回）合同分科会議事録（案）

2015.12.25, 帝人ファーマ(株) 上村 みどり

日時：平成27年12月25日14時00分～15時00分

場所：日本学会議6階会議室6-A(1)

出席者：秋光 純、阿久津典子、上村みどり、栗原和枝、黒田玲子、小林昭子、
今野美智子、菅原洋子、高田昌樹、高原淳、村上洋一、山縣ゆり子

議題：

(1) IUCr 分科会関連

- ・ 前回議事録確認。
- ・ ICSUの地域準会員として選出される必要があるため、IUCr 会長にサポートレターを依頼中。
- ・ 世界結晶学連合会議と総会は3年に1回開催され、総会で次期執行部役員と各種委員会委員が選出される。次回（インド開催）のIUCr 2017のマイクロシンポジウム、基調講演などの提案（1月末日しめきり）と、理事および各種委員会委員候補の推薦（6月末締め切り）の依頼がIUCr よりあった。

IUCr 分科会が中心となり推薦および提案をしていく

なお、国際プログラム委員会メンバーとしては、日本からは東北大学佐藤卓教授が就任している。

来年のデンバーで開催されるACAの折りに大枠を決定する予定。

(2) 結晶学分科会関連

- ・ 前回議事録確認
- ・ 22期に発出された提言「第22期学術の大型研究計画に関するマスタープラン（マスタープラン2014）の改訂版となるマスタープラン2017を策定する。
 - ① マスタープラン2014に採用されなかった改訂提案
 - ② マスタープラン2014に採用されたもので改訂された提案
 - ③ 新規提案

の3提案をうけつける。2017年1月下旬にマスタープランが策定される。

その後、2-3月で公募する。重点研究については、7-9月にヒアリングし、9-11月で分科会案決定の予定。

今まで10回の分科会をして、AMED、農水省、文科省等と合同会議開催。

融合領域に関心が高かった。前は重点課題としては、化学領域からは3件が採用された。

同じような提案ではなく、異なるものをだしていくことが大切。分科会としては、コミュニティーとしての提案をサポートしていく。

今期は、マスタープラン策定にそって活動していく。

- 昨年10月に設置された「科学技術の光と影を生活者との対話から明らかにする」分科会の紹介がなされた。

放射光の危険性を「影」というのをとりわけ強調しなくてもよいのではないか？

以上